

いのちの森づくり 2020 植樹祭実施レポート

団体名		出雲大社相模分祠
活動名		宮脇昭復活植樹祭
実施日		2019 年 4 月 14 日（日）
実施場所		神奈川県秦野市栃窪 589（栃窪スポーツ広場）
実施状況	参加人数	400 名
	植樹本数	3000 本
	植樹樹種	タブノキ、スダジイ、シラカシなど 26 種
	指導先生の参加の有無	有り
	実施内容・イベント	宮脇昭先生の復帰第一号となる植樹祭でもあり、北海道、宮城、大阪、愛知、福岡など日本全国から 400 名を超える参加者、30 名程度のインストラクターも集まり、目標本数 3000 本の植樹を達成。来賓、協賛企業・団体ともに 30 を超え、宮脇昭先生の復帰を盛大に祝うとともに、2020 年オリンピック・パラリンピックを見据え、またその先に継続して活動が周知されるための大きな契機となった。
	活動の狙いや工夫等	・参加費は大人 1000 円、子供 500 円。スコープ、タオル、飲料、おにぎり、豆腐、パンフレットを配布した。これらは、各協賛会社や団体の協力により実現した。 ・来賓や協賛企業に積極的に声掛けをし、多くのご参加、ご賛同を得ることができた。特に、環境省「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクト賛同事業としての認可を得ることが出来たのは、今後もしのちの森づくり 2020 の活動を行っていくうえで、活動の幅を広げ、各方面から協賛を得やすくなることだろう。 ・当日、近隣地区の洪沢神社の例祭の神輿渡御があり、植樹会場を練り歩く演出を施した。植樹の成功と苗木の成長を祈り、宮脇先生が神輿を先導する姿は、参加者の気持ちを熱くさせたのではないかな。
特記事項 （参加者の声など）		・子供連れの顔ぶれも多く、楽しそうに植樹していたという声も聞かれたが、来賓の、環境省中井徳太郎総合環境政策統括官が仰っていたように、来るべき大地震の備えや環境破壊対策は、喫緊の課題であると、将来を危惧する声もあった。 ・家族や友人が楽しかったと言っていた。 ・宮脇先生がお元気そうで安心した。また、先生も参加者も皆さん笑顔で素敵な植樹祭だった。 ・先生が立ち上がってご挨拶と植樹指導をされた姿に感動した。

活動写真



担当者連絡先

〒2570015 神奈川県秦野市平沢 1221

出雲大社相模分祠 分祠長 草山清和

☎ 0463-81-1122

E-mail izumosan@rf6.so-net.ne.jp